

13	「相手の立場になって考える」とは		
担当講師名	名城一枝、安里葉子（名桜大学人間健康学部）		
講座の趣旨	<p>「相手の立場になって考える」という言葉は、私たちが子どもの頃から日常生活の中で親や学校の先生方からよく言われてきた言葉です。</p> <p>看護では、ケアリングという言葉があって、パトリシャーベナーは、「気づかい（caring）という語は、人が何らかの出来事や他者、計画・物事を大切に思うことを意味する」と述べています。</p> <p>私たちが、幼い頃から両親や祖父母、先生方に教えられてきた、「相手の立場になって考える」ということも、看護行為の原点となる気づかいや相手を思いやる気持ちから出発した行為ではないかと考えます。「相手の立場になって考える」ことの重要性について看護実践例を通して考えます。</p>		
開催日時	平成30年9月1日（土）10：30～12：00		
受付期間	平成30年7月2日（月）～8月24日（金）		
受講対象者	一般市民（高校生以上） 10名	場所	看護学科棟 基礎看護実習室2
備考			